

<令和元年度学校関係者評価委員からのアンケート（まとめ）>

令和元年度の明成高校の学校運営目標

- (1) 好きなもの、やれるもので心と技を磨いての自分づくり
- (2) 目と手をかける指導で社会の要請に応える学校づくり
- (3) 10年後を見据えた自分づくり

この目標に対して、各分掌や係が「最終評価」をしたものについて、評価委員の皆様から以下のとおりご意見やご質問をいただきました。

[1] 募集業務部

- 明成ブランドを広報していくうえで、学校 HP の影響力が大きいと考えられることから、初めてアクセスした人にも魅力が十分伝わるような HP になると良いと思う。
- 高大7年間に渡り、勉強または得意なスポーツをやり続ける楽しさやのぼりつめる先はプロスポーツや指導者としての後進の指導・スポーツと多彩な将来が約束され、夢を叶えられる現実と向き合えると考えられる。中学校訪問の際、「社会への進出を見ていただき、これから7年後の成長した姿を想像し、実感していただきたい。」を強調して欲しい。一貫教育のメリットを前に出し、大いにアピールすることが肝要かと思われる。
- 「新しい明成」「魅力的な明成」のアピールによるイメージアップ戦略は素晴らしいと思う。是非、地元で説明会を開き、明成高校のイメージアップを図ってもらいたい。

[2] 教務部・教務部図書

- 達成度がCの項目が多いことが気になる。特に成績データ管理及び処理に問題が見られたという点について、今年度改善した点を次年度に生かして欲しい。
- 「授業開始スタンダード」の徹底を図るために、放送やプリントによる意識付け等、指導・支援を工夫していることが分かった。本格実施2年目ということだが、このような取組みはすぐに成果が出るものではないと思うので、継続的かつ組織的に取り組んでいくことが大切である。今後の更なる成果に期待している。

[3] 進路指導部

- 新しくなった明成高校の卒業生の進路がどう変化するかに多くの人が注目していると思う。
- 先生方は大変な努力をされていると思うが、進路指導の相談・助言の項目で、他の項目に比べて、生徒の感じ方が低いところが気になる。

[4] 生徒指導部

- 生徒の多様な能力や関心に十分に答えられているか。豊かな情操と道徳心を培う教育が行われているか。公共性をどのように身に付けさせるか。自分が社会とどのように関わっていくか。
(特に、郷土愛や母校愛)
- 「挨拶」社会の中で、一番大事なものであり、相手に伝わることで、「私はここにおります」とアピールする動作・行動である。ただ、大声を張り上げるのでは印象が悪くなり、失墜してしまう。心を込めた挨拶ならば相手は納得し、次の言葉、声の掛け合いが生まれると思う。元気が一番、心のこもった挨拶の指導をして欲しい。
- 「行動・身だしなみ・言葉遣い、けじめある生活態度の確立」に向けて、日常的にきめ細やかな指導をされていると感じた。本校も来年度は「心と言葉をつなぐ挨拶をする」ことを、学校、保護者、地域と連携して達成する目標としたいと考えている。明成高校とも連携して、挨拶のある明るい地域を作っていきたい。

[5] 総務部

○達成度が概ね A,B となっており、次年度も継続して欲しい。

[6] 特別事情教育・教育相談

○配慮を要する生徒に対して、どこまでどのように個別対応していくのかが、今後益々重要視されていくものと思われる。

○教育相談対象生徒に「自己肯定感を高めることを目的として、分かる喜びを大切に学習指導と学習への悩み相談を心がける」取組みを実施されていることは大変素晴らしいと思う。校種に関わらず、生徒指導と特別支援教育の課題は総合的に分析し、対応策を検討する必要があると改めて感じた。

[7] 保健厚生

○

[8] 父母教師会

○

[9] 同窓会

○入会時に委嘱された幹事代表が本部評議員として残ってもらえると役員不足解消になると思うが、卒業後の生活が不明となるため、教職員の情報・声掛けがあると有り難い。

[10] 国際理解教育

○国際交流、地域連携、社会貢献活動として継続発展させて欲しい。短期留学や英語教育を強化して欲しい。

[11] 事務室

○教職員の車両の物損事故3件発生について、十分に注意していかなければならないと感じる。

[12] その他（質問等）

○調理科（食文化創志科）において、3年生でとれる検定・資格について知りたい。

また、評価委員の皆様から、令和2年度から始まる新4学科へのご質問やご意見、ご要望をいただきました。

(1) スポーツ創志科

○競技以外にも基礎学力の向上や教養や興味を持って学ぶ姿勢・習慣を身に付けて欲しい。「コミュニケーション能力」「表現力」「語学力」を大切にして欲しい。

○部活動で、主力として活動している生徒は心配ないと思うが、いわゆる補欠やメンバー外の生徒達のモチベーションをどう維持させていくのか、そのためのサポートをどうしていくのが難しいと思われる。

○仙台大学との一貫教育となることで、素晴らしい環境のもと、日々努力を重ね、オリンピック選手を輩出できる学びの園となることを確信している。

○普通科健康スポーツコースが独立したというイメージで良いのか?文武両道を目指して頑張ってもらいたい。

○仙台大学の附属高校として中核となる学科と期待している。日本の代表的な選手を育て、仙台大学で花開くことを祈念している。

○運動部が輝かしい実績を数多く残していることから、大変充実した学科になると思う。スポーツの実技指導はもとより、将来様々なスポーツビジネスに携わる人材や指導者として、必要な資質・能力の育成にも努めることを期待している。

(2) 福祉未来創志科

- 全員が検定合格や資格取得できるための環境整備に期待している。
- 卒業後の進路がどうなるのか、大学との連携はどうしていくのが生徒確保につながると思われる。
- 現在、国内では、人手不足を東南アジアからの人手でまかなっていると思われるが、将来的にはこのような方々の指導者として施設に勤めることになるのか?また、ジャカルタ・インドネシア・マレーシアなどの宗教的な礼拝や食事面でハラールといった規則を持った国からの受入れは考えているのか?
- 介護福祉科を引き継ぐ形になるのか?
- 高齢化社会等福祉に関わる課題が今後ますます増大するなか、卒業生の活躍に期待している。福祉の観点から未来の社会を考え、生徒自身にどのような貢献ができるかを深く考えさせてもらいたい。

(3) 食文化創志科

- 一生の財産として、専門性を磨く努力を続け、資格取得を出来る生徒が増えることを望む。
行事やコンテストへの参加は公共性・マナー・身だしなみにプラスになると思う。
- 大学連携という新たなチャレンジに大いに期待している。
- 明成高校で行っている自家菜園の「土から掘り起こし、水で洗い流す」という行為こそが食文化の誇りであると考えられる。季節ごとの野菜に手をかけ、心に響く料理を作り、食した方に感動を与えて欲しい。食に携わる一員として健康な身体づくりは、生きていくために必要不可欠であると考えられる。
- 調理科が発展したイメージである。未来の食について大いに学んで欲しい。
- アンケート項目「学校への満足度」が低いのに驚いた。花形の学科だと思うが、何故そうなるのか調査し、原因を掴み、手を打つ必要があると思う。
- 本校生徒が白菜づくりに取り組んでいることに改めて感謝したい。本校においても「食育」を推進している。高校生が生徒に教える・伝える活動を取り入れる等により、高校生の食文化への理解を深めさせることができるのではないか。

(4) 普通科

- 情報通信技術を活用した学びを更に強化して欲しい。
- 国公立大学への進学を目指す生徒は普通科を選ぶことになるのか?
- 朝学習時間を 15 分程度設けて、漢字の小テストや簡単な暗算能力を身に付けさせてはどうか。または、興味のある小説を読み、想像力や漢字の読み書き等に役立てさせたり、感想文を提出させ、読解力を身に付けさせることが肝要と考える。
- 「教育活動評価」の結果考察の中に、「好みの隔たりや個性の強い状況である状況のもと、非常にポジティブな回答が多かった」と記載されていた。多様な志を抱いて入学する生徒が多くなることが予想されるが、価値観や考えの多様性を生かして、考えを広げたり、深めたりする授業が展開されることを期待している。

「仙台大学附属明成高校に期待すること」についてのご意見

- どのような力を持った生徒に入学して欲しいか。「グローバルに活躍するリーダーの育成」に力を置いた学習内容を取り入れて欲しい。
- 明成高校から仙台大学へ進学した生徒の大学卒業後の進路（就職）をどう担保するのが課題と思われる。高大一貫の特色ある教育活動を期待している。
- 教育並びに個性豊かな社会進出への足掛かりとなることを確信している。
- 7年一貫教育となることで、充実したより深い教育を期待している。
- 今後の進学校のイメージを早く定着させ、仙台大学とともに活躍し、発展することを期待している。
- 仙台大学出身の小学校教員が増えている。そのような進路もあることを高校生に伝えながら、進路指導に当たっていただくことができると思う。今後も明成高校・仙台大学との連携を図っていただけると、幸いである。